



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東  
 コード番号 4023 URL <https://www.kureha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 鶴谷 一成 (TEL) 03-3249-4651  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	148,980	21.0	24,483	34.7	25,053	35.5	17,769	32.3	17,657	32.6	18,489	14.8
2022年3月期第3四半期	123,111	16.5	18,172	24.9	18,486	24.4	13,433	13.6	13,320	13.1	16,103	△1.3
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第3四半期	904.69				903.26							
2022年3月期第3四半期	682.48				681.52							

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	291,367	214,309	212,756	73.0
2022年3月期	282,639	200,724	199,219	70.5

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	125.00	210.00
2023年3月期	—	125.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	125.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	12.9	27,000	34.0	28,000	37.3	20,000	41.2	1,024.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,805,407株	2022年3月期	20,805,407株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,287,898株	2022年3月期	1,288,121株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	19,517,598株	2022年3月期3Q	19,517,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、経済社会活動の正常化が進みつつあります。このような景気回復への期待が寄せられる一方、世界的な金融引締めに伴う影響、原燃料価格の高騰、半導体の不足およびウクライナ情勢の長期化による影響が懸念され、先行きが不透明な状況が依然続いております。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対し感染予防と感染リスク低減に努めて安定的に事業活動を継続しております。第1四半期初めには、同感染症の再流行に伴う中国でのロックダウンにより、機能製品事業の炭素製品分野の現地工場が一時稼働を停止しましたが、影響は軽微でした。また、原燃料価格の高騰による業績への悪影響はあるものの、顧客の理解を得ながら、製品価格への転嫁等の対策を進めております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間は、機能製品事業のリチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂を中心に売上げが伸張し、前年同期比で増収増益となりました。

売上収益は前年同期比21.0%増の1,489億80百万円、営業利益は前年同期比34.7%増の244億83百万円、税引前四半期利益は前年同期比35.5%増の250億53百万円、四半期利益は前年同期比32.3%増の177億69百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比32.6%増の176億57百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上収益			営業損益		
	前第3四半期	当第3四半期	増減	前第3四半期	当第3四半期	増減
機能製品事業	44,974	66,063	21,088	4,182	11,494	7,311
化学製品事業	20,633	25,381	4,748	2,174	2,174	0
樹脂製品事業	35,272	36,494	1,222	8,518	7,469	△1,048
建設関連事業	8,485	6,946	△1,538	502	402	△100
その他関連事業	13,745	14,094	348	2,473	2,550	76
セグメント合計	123,111	148,980	25,869	17,851	24,091	6,240
調整額(注)	—	—	—	321	391	70
連結合計	123,111	148,980	25,869	18,172	24,483	6,311

(注) 営業損益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。詳細は、「(4)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載しております。

## ① 機能製品事業

機能樹脂分野では、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品、その他の樹脂加工品等の売上げが増加したことから、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

炭素製品分野では、高温炉用断熱材および自動車部品用摺動材向けの炭素繊維の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比46.9%増の660億63百万円となり、営業利益は前年同期比174.8%増の114億94百万円となりました。

## ② 化学製品事業

農薬・医薬分野では、農業・園芸用殺菌剤の売上げは増加し、この分野での売上げは増加しましたが、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは減少したため、営業利益は減少しました。

工業薬品分野では、無機および有機薬品類の売上げが増加し、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比23.0%増の253億81百万円となり、営業利益は前年同期並みの21億74百万円となりました。

## ③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが減少したことおよび原燃料価格高騰の影響により、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデン・フィルムの売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比3.5%増の364億94百万円となり、営業利益は前年同期比12.3%減の74億69百万円となりました。

## ④ 建設関連事業

建設事業では、民間工事および公共工事の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比18.1%減の69億46百万円となり、営業利益は前年同期比20.0%減の4億2百万円となりました。

## ⑤ その他関連事業

環境事業では、産業廃棄物処分の増加により、売上げ、営業利益はともに増加しました。

運送事業では、売上げ、営業利益はともに減少しました。

病院事業では、売上げが増加し、営業損失は減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比2.5%増の140億94百万円となり、営業利益は前年同期比3.1%増の25億50百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当第3四半期末の資産合計につきましては、前期末比87億27百万円増の2,913億67百万円となりました。流動資産は、棚卸資産ならびに営業債権及びその他の債権が増加したこと等により、前期末比67億63百万円増の1,191億81百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産が増加したこと等により、前期末比19億64百万円増の1,721億85百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比48億56百万円減の770億57百万円となりました。これは、営業債務及びその他の債務が減少したことおよび、有利子負債が社債の償還等により前期末比28億90百万円減の256億16百万円となったこと等によるものです。

資本合計につきましては、前期末比135億84百万円増の2,143億9百万円となりました。これは、剰余金の配当を48億79百万円実施した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益を176億57百万円計上するとともに、為替市場での円安の影響によりその他の資本の構成要素が増加したこと等によるものです。

## (3) 今後の見通し

2022年11月9日の「2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,639	25,606
営業債権及びその他の債権	35,808	37,736
その他の金融資産	16	14
棚卸資産	41,698	50,453
その他の流動資産	4,255	5,371
流動資産合計	112,418	119,181
非流動資産		
有形固定資産	114,435	117,666
無形資産	4,041	4,597
持分法で会計処理されている投資	16,836	15,526
その他の金融資産	21,514	21,212
繰延税金資産	1,604	2,086
その他の非流動資産	11,787	11,095
非流動資産合計	170,221	172,185
資産合計	282,639	291,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	29,476	27,776
社債及び借入金	14,750	18,062
その他の金融負債	1,522	2,195
未払法人所得税等	2,287	4,308
引当金	6,893	5,079
その他の流動負債	7,671	6,686
流動負債合計	62,602	64,109
非流動負債		
社債及び借入金	11,428	4,050
その他の金融負債	2,028	2,990
繰延税金負債	2,269	2,328
引当金	1,342	1,312
退職給付に係る負債	316	334
その他の非流動負債	1,926	1,931
非流動負債合計	19,311	12,948
負債合計	81,914	77,057
資本		
資本金	18,169	18,169
資本剰余金	14,724	14,724
自己株式	△8,701	△8,700
利益剰余金	166,005	178,059
その他の資本の構成要素	9,020	10,503
親会社の所有者に帰属する持分合計	199,219	212,756
非支配持分	1,505	1,553
資本合計	200,724	214,309
負債及び資本合計	282,639	291,367

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	123,111	148,980
売上原価	86,738	102,764
売上総利益	36,372	46,216
販売費及び一般管理費	19,928	23,169
持分法による投資利益	1,475	1,153
その他の収益	714	827
その他の費用	462	545
営業利益	18,172	24,483
金融収益	454	745
金融費用	140	175
税引前四半期利益	18,486	25,053
法人所得税費用	5,053	7,284
四半期利益	13,433	17,769
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,320	17,657
非支配持分	113	111
四半期利益	13,433	17,769
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	682.48	904.69
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	681.52	903.26



要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	13,433	17,769
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△256	△197
確定給付制度の再測定	931	△723
合計	674	△921
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,996	1,641
合計	1,996	1,641
税引後その他の包括利益	2,670	720
四半期包括利益	16,103	18,489
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,023	18,395
非支配持分	80	94
四半期包括利益	16,103	18,489

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日残高	18,169	14,897	△8,697	154,166	110	△3,161
四半期利益				13,320		
その他の包括利益						1,996
四半期包括利益合計	—	—	—	13,320	—	1,996
自己株式の取得			△1			
株式報酬取引					23	
配当金				△3,318		
非支配持分との資本取引		△172				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				931		
所有者との取引額合計	—	△172	△1	△2,386	23	—
2021年12月31日残高	18,169	14,724	△8,699	165,100	133	△1,165

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	8,345	—	5,294	183,830	1,690	185,521
四半期利益			—	13,320	113	13,433
その他の包括利益	△224	931	2,702	2,702	△32	2,670
四半期包括利益合計	△224	931	2,702	16,023	80	16,103
自己株式の取得			—	△1		△1
株式報酬取引			23	23		23
配当金			—	△3,318	△62	△3,380
非支配持分との資本取引	1		1	△171	△228	△399
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△0	△931	△931	—		—
所有者との取引額合計	0	△931	△907	△3,468	△290	△3,758
2021年12月31日残高	8,122	—	7,090	196,385	1,480	197,866

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	18,169	14,724	△8,701	166,005	141	1,373
四半期利益				17,657		
その他の包括利益						1,641
四半期包括利益合計	—	—	—	17,657	—	1,641
自己株式の取得			△3			
株式報酬取引			4	△1	21	
配当金				△4,879		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△723		
所有者との取引額合計	—	—	0	△5,604	21	—
2022年12月31日残高	18,169	14,724	△8,700	178,059	163	3,015

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計				
2022年4月1日残高	7,504	—	9,020	199,219	1,505	200,724	
四半期利益			—	17,657	111	17,769	
その他の包括利益	△179	△723	738	738	△17	720	
四半期包括利益合計	△179	△723	738	18,395	94	18,489	
自己株式の取得			—	△3		△3	
株式報酬取引			21	24		24	
配当金			—	△4,879	△46	△4,925	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		723	723	—		—	
所有者との取引額合計	—	723	745	△4,858	△46	△4,905	
2022年12月31日残高	7,324	—	10,503	212,756	1,553	214,309	

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりです。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品 炭素繊維、球状活性炭
化学製品事業	農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤、か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	産業廃棄物の処理および環境関連処理設備、理化学分析・測定・試験および検査業務 運送および倉庫業務、医療サービス

## (2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一です。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	44,974	20,633	35,272	8,485	13,745	123,111	—	123,111
セグメント間の 内部売上収益	765	144	185	3,919	4,913	9,929	△9,929	—
計	45,740	20,777	35,458	12,404	18,659	133,040	△9,929	123,111
営業利益	4,182	2,174	8,518	502	2,473	17,851	321	18,172
金融収益								454
金融費用(△)								△140
税引前四半期利益								18,486

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益68百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益714百万円およびその他の費用△462百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	66,063	25,381	36,494	6,946	14,094	148,980	—	148,980
セグメント間の 内部売上収益	1,077	159	259	5,578	5,049	12,123	△12,123	—
計	67,140	25,540	36,754	12,525	19,143	161,104	△12,123	148,980
営業利益	11,494	2,174	7,469	402	2,550	24,091	391	24,483
金融収益								745
金融費用(△)								△175
税引前四半期利益								25,053

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益109百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益827百万円およびその他の費用△545百万円が含まれております。